

2020年12月28日

各 位

オリックス株式会社

スペイン本拠のグローバル再エネ事業会社 Elawan Energy を買収 ～再エネ事業のグローバル展開プラットフォームに～

オリックス株式会社（本社：東京都港区、社長：井上 亮）は、スペイン本拠のグローバル再生可能エネルギー事業会社 Elawan Energy S.L.（本社：スペイン・マドリード、CEO: : Dionisio Fernández Auray、以下「Elawan」）を買収しますのでお知らせします。

このたび、欧州の現地法人 ORIX Corporation Europe N.V.を通じて、Elawan の発行済株式の 80%を取得することで合意しました。今後、必要となる許認可の取得手続きなどを経て、2022年3月期第1四半期中の株式取得を目指します。

Elawan は、2007年に設立され、スペインをはじめとする欧州を中心に、北米や南米など現在 14 カ国において、風力および太陽光発電所の開発・運営を行っています。これまでに設備容量合計約 2.9GW の開発実績を有し、現在約 714MW の稼働プロジェクト、461MW の建設中プロジェクトのほか、10GW 以上の開発パイプラインを確保しています。世界各国で開発から運営まで一貫して手掛ける専門性と機能を持ち、今後、オリックスがグローバルに再生可能エネルギー事業を拡大する上での戦略的プラットフォームと位置付けています。

オリックスは、国内外での再生可能エネルギー事業展開を重要な経営戦略の一つとして掲げています。国内での太陽光、風力、地熱、バイオマスなどの発電事業の拡大とともに、海外では 2017年に米国の上場地熱発電事業会社 Ormat Technologies, Inc に出資しました^{*1}（現出資比率：約 19.7%）。また、2020年9月にインドの大手再生可能エネルギー事業会社 Greenko Energy Holdings の株式 20%強の取得で基本合意^{*2}し、2020年12月にはインフラや再生可能エネルギー、不動産ファンドを運営する英国のオルタナティブ資産運用会社 Gravis Capital Management Ltd. の株式 70%を取得することにつき合意^{*3}しています。

世界各国で 2050 年に向けた温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする脱炭素社会の実現への機運が高まる中、オリックスは、グローバルマーケットでの再生可能エネルギー事業者として地位の確立を目指すとともに、企業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

- ※1 [2017年5月8日付プレスリリース：米国の上場地熱発電事業会社に出資](#)
- ※2 [2020年9月11日付プレスリリース：インドの大手再生可能エネルギー事業者 Greenko Energy への出資に関する基本合意について](#)
- ※3 [2020年12月4日付プレスリリース：英国の資産運用会社 Gravis Capital Management を買収](#)

■Elawan Energy S.L.概要

会 社 名：Elawan Energy S.L.
所 在 地：スペイン・マドリード
代 表 者：Dionisio Fernández Auray（創業者兼 CEO）
設 立：2007年
事 業 内 容：風力および太陽光発電所の開発・運営
売 上：87百万ユーロ（2019年12月期）
総 資 産：737百万ユーロ（2019年12月期）
株 主^{※4}：オリックス株式会社（80%）、ACEK Renewables（14%）、
Clear Wind（6%）
ホームページ：<https://www.elawan.com/en>

※4 本件買収後のもの

以 上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報・渉外部 角谷・金岡 TEL：03-3435-3167